

6

性的マイノリティの人権

自分らしさってなんだろう

1 対象

小学校4～6年生

2 ねらい

性のありようを表すものとされる傾向にあった事柄が、「性」によるものではないことを学び、性のありようは多様なものであることに気づき、人としてお互いの個性を尊重し、認め合いながら共生していこうとする意識を育む。

3 準備するもの

○ワークシート

○セクシュアリティの構成要素の図を拡大したもの（黒板掲示用）

4 解説

近年、性的マイノリティ（LGBT）の人たちへの社会的関心が高まっているにも関わらず、その理解は十分に進んでいるとは言えない。いくつかの企業や研究機関のデータから考えてみても、性的マイノリティの人は児童・生徒の中にも一定数存在するということがわかる。

平成 28 年に文部科学省より通知された「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について（教職員向け）」では、学級・ホームルームにおいては、いかなる理由でもいじめや差別を許さない適切な生徒指導・人権教育等を推進することが、悩みや不安を抱える児童・生徒に対する支援の土台となることと示されている。

性のありようは、一人ひとり異なっており、それぞれ尊重されるべきものである。これまで性のありようは「男らしさ」と「女らしさ」と二分し、そうあるべきとされてきた傾向もあった。児童が活動をとおして、性のありようを表すものとされる傾向にあった事柄が、「性」によるものではないことを学ぶことで、性のあり方は多様なものであることに気づき、お互いの個性を尊重し、認め合いながら共生していこうとする意識を育みたい。

5 進め方（展開例） 45分

時間	学習の流れ（活動・内容）	留意事項	資料など
導入 10分	<p>◆学習の確認（2分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業の流れや留意点の説明を聞く。 <p>◆アイスブレイキング（8分）</p> <p>「他己紹介」</p> <ol style="list-style-type: none"> 2人ずつペアとなり、お互いに自己紹介をする。 2つのペアで4人グループを作り、自分のペアの人について順番に紹介する。 全員の他己紹介が終わったら、全体で取り組んだ感想を発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の流れを簡単に説明する。 〔P4「学習を進めるにあたって」の内容〕を児童に伝える。 4人程度のグループで行う。 自己紹介の内容をあらかじめ決めておく。（名前、趣味、性格など） まとめをする。 	
<p>・相手のことを理解しようとする気持ちをもつとともに、自分のことを紹介してもらうことによって、他者に自分を受け入れてもらえているということを体感する。</p>			

展開 30分	<p>◆アクティビティ（30分）</p> <p>「自分らしさってなんだろう」</p> <p>①Aさんの自己紹介文を見ながら、先生の話の聞く。</p> <p>②バカにされたAさんの気持ちを各自で想像し、記述する。</p> <p>③②を数人が発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が考えながら聴けるように、Aさんの自己紹介を一つずつゆっくり読む。 ・数人に発表させる。 ・下枠内の事柄を説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことを否定されると、嫌な気持ちになることを想像する。 ・その人らしさを否定することは、その人を傷つけることを知る。 ・その人らしさは「尊重されるべきもの」だということを知る。 			
	<p>④Aさんが男性か女性か質問する。</p> <p>⑤グループで課題について話し合い、どう思ったか結果とその理由を記述する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、そう思ったのか理由も説明させる。 ・グループで話し合った結果とその理由をワークシートに記述させる。 ・これらの言葉の内容も「その人らしさ」として試みるができる、性別とは関係ない事柄であることなどに気づかせたい。 ・下枠内の事柄を説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「男だから・・・」、「女だから・・・」というきまりはなく、どれも「その人らしさ」の一つだということに気づく。 	
<p>⑥「性」についての説明を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明確に「男性」と「女性」の2つに分けることができない。 ・その人自身の性のありようのことを「セクシュアリティ」という。 ・「セクシュアリティ」には、「こころの性」、「からだの性」、「好きになる性」、「表現する性」の4つがある。 ・「セクシュアリティ」は多様で、グラデーションのようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート設問4を読み、性のありようは複数の要素があり、それらが複雑に絡み合うため、多様性が増すことを説明する。 ・差別的な意味合いを含む言葉などが児童から出てきた場合は、「それってどういうこと？」と聞き返し、こうした「セクシュアリティ」や「その人らしさ」は尊重されるべきものであることを再度確認する。 ・教師など身近な大人の例を示すことで、本人の感じ方と周りの感じ方の違いについても、児童に感覚的にとらえさせることもできる。 			
まとめ 5分	<p>◆まとめ（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめの話を聞き、感想を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・性のありようは、一人ひとり違い、「男だから」、「女だから」というきまりはなく、「その人らしさ」の一つであることを知る。 ・お互いに「その人らしさ」を認めていくことが重要であることに気づく。 	

<参考資料など>

「人権感覚育成プログラム（学校教育編）第2集」 埼玉県教育委員会（平成31年3月）

「人権教育実践資料2 性の多様性を認め合う児童生徒の育成I」 倉敷市教育委員会（平成29年3月）

自分らしさってなんだろう

() 年 () 組 () 番 名前 _____

1 Aさんはクラスで自己紹介をしたとき、次のようなことを話しました。

- ① 算数は苦手だけど、音楽が好きです。小さい頃からピアノを習っています。
- ② 生まれつき髪の色が少し明るくて茶色に見えることもあります。
- ③ ハンバーグは好きだけど、野菜は苦手です。特に、ピーマンが嫌いです。
- ④ 好きなスポーツはサッカーです。
- ⑤ パンが好きなので、将来はおいしいパンを作る人になりたいです。

2 もしも、1であげた①～⑤の事柄をバカにされたら、Aさんはどんな気持ちになると思いますか。

3 次の枠の言葉は、「男だから」「女だから」と、性別のちがいによって決めつけられてしまう言葉でしょうか。グループで話し合ってみましょう。

やさしい 部屋がきたない 言葉づかいが丁寧 気が強い すぐに泣く
 外見に気をつかう 料理が苦手 おとなしい 機械に強い 決断力がある
 赤色が好き 青色が好き 音楽が苦手 行儀がよい スポーツが得意

グループで話し合った結果

理由

4 性のとらえ方

「あなたの性はなんですか？」と聞かれると、「男性」か「女性」のどちらかに分けて考えてしまいがちですが、実は、明確に「男性」と「女性」の2つに分けることはできません。

その人自身の性のありようのことを「セクシュアリティ」といいます。

セクシュアリティとは、人間一人ひとりの人格に不可欠な要素の集まりです。

その要素には、

「こころの性：自分自身の性別をどう認識しているか」

「からだの性：生まれもった身体の性のこと」

「好きになる性：恋愛や性愛の対象となる人の性」

「表現する性：服装や性格、趣味や振る舞い方など」の4つがあります。

これらの性は「男性」と「女性」の2つに分けて考えがちですが、その2つだけに分けることができないものです。セクシュアリティは多様で、グラデーション（※）のようなもので、一人ひとり異なるものです。

セクシュアリティの構成要素



※グラデーション：上の図のように、色の濃さうすさが、とぎれなく変わっていくもので、はっきりとした区切りがない状態を表す。

5 今日の学習をとおして、わかったことを書きましょう。